

スケジュールのあれこれ

子どもたちが見通しを持ち、主体的に学習(活動)できるように「スケジュール」の提示を行う支援があります。

【タイプ】

「スケジュール」には、3つのタイプがあります。

- 移動型・・・具体物やカードを持って移動し、目的地のポケットに入れます。
- 固定型・・・決められた場所で学習(活動)を提示します。
- 携帯型・・・学習(活動)が記録してあるメモ、携帯電話、携帯ボードを使用。いつでも見られます。

【長さ】

スケジュールの長さは、子どもの見通しが持てるレベルや、必要性に応じて決めます。1ヶ月、1週間、1日、半日、1～2つの提示など。

【提示手段】

子どもの理解レベルに合わせます。具体物、ミニチュア、写真カード、絵カード、シンボルカード、文字カードなど。



月カレンダー1

月のカレンダー横帯式です。月単位という大きな見通しを持つ場合に使用します。

大まかな予定が一覧できます。終わったら「×」を示し、「今日」が分かりやすくしています。

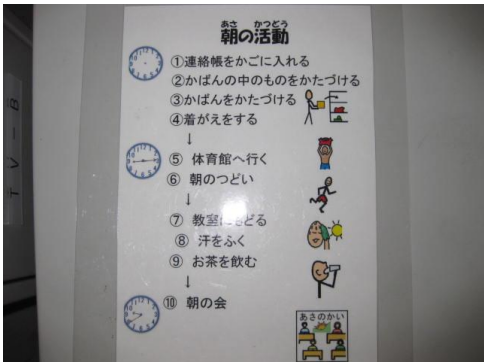
週単位のカレンダーもあります。



月カレンダー2

月カレンダー通常バージョンです。

主な活動、学習のカード(字や絵)を透明シートに入れます。

	スケジュール1 2つの活動を提示し、見通しが持てるようにします。 2つめは、好きな活動（動機付けにつながるような活動）を設定するのがのぞましいです。 カードでの見通しが持ちにくい子は、具体物の提示から始めます。
	スケジュール2 半日 or 一日の活動を、カードを並べて提示し、見通しが持てるようにします。カードは、たとえば、写真、絵、シンボル等を使用します。子どもの理解レベルに合わせます。 写真は、移動型スケジュールです。ボードからカードをはがし、次の学習場までカードを持って移動します。移動先のポケットにカードを入れ、学習（活動）に向かうという手順で行います。
	めくり式スケジュール 学習（活動）を日めくり式で提示し、見通しが持てるようにします。 一つ一つの学習（活動）をしっかりと確認でき、他の情報（前後の活動）が同時に入って混乱することが避けられます。継次的な処理をする子どもにも有効かも。
	手順書（手順表） ひとつの学習（活動）の手順を提示し、見通しが持てるようにします。 写真のように上から順に活動を並べる伝え方と、上記のような日めくり式とがあります。子どもの認知特性を見て選びます。